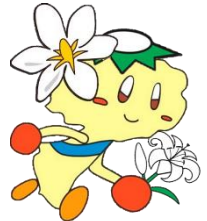




8月23日(火)～26日(金) 岩手県遠野市への訪問

夏休み中、小学生都市間交流事業に学校代表として2人が参加し、岩手県遠野市を訪問しました。訪問団は、本校の2人を含む市内小学生20名と、共長小学校長を団長とする引率4名です。4日間にわたり、遠野小学校との交流や施設見学、農業等各種体験に取り組み、多くのことを感じ、学ぶことができました。



※以下は体験報告書の一部抜粋です。

交流非公式キャラクター「おぶっぱ」

〇の〇 〇〇 〇〇

私は東日本大震災を経験したことがありません。遠野市では、震度5強の地震が発生しました。遠野市の方からお話を聞くまで、そこまで重く感じていませんでした。でも、映像とお話から本当はすごく大変な地震だったんだと思いました。震災時に盛岡市、奥州市、花巻市、北上市が遠野市に集まり、津波が起きたところに救助をしに行ったそうです。

〇の〇 〇〇 〇〇

私は遠野物語についていろいろ調べてみました。遠野博物館には遠野物語をテーマにした作品があり、詳しく知ることができました。私は遠野物語のことを作り話だと思っていました。でも博物館の人が昔本当に起きた話だとおっしゃっていました。オシラサマは、よい方向へとお知らせしてくれる神様なので、オシラサマと名前がついたと教えてもらいました。

9月1日(木) 二学期始業式

「長い夏休みが終わりました。そして今日から2学期が始まります。」お決まりのフレーズで「校長の話」を始めました。話の主な内容は、二つの「改造」について。一つ目は「学校改造」。夏休み中に行われた様々な工事を紹介し、より素敵な環境になった校舎をこれまで以上に好きになり、大切にしたいと伝えました。二つ目は「自分改造」。行い、性格、考え方を見直しながら、夢を叶えるため、よりよい自分になるために、努力を重ねてほしいこと、そのために、やっぱり「いいこと考えた！やってみよう！」を实践していくことが「自分改造」につながることを伝えました。子どもたちの2学期の成長が楽しみです。

HAC

～ 東山小児童会広報 ～ 9月5日(月) 朝会にて

放送委員会

9月の月目標を発表します！

9月の目標は「みんなで静かにお昼の放送を聞こう」です。

夏休みが終わり、2学期が始まりました。皆さんは充実した夏休みを送ることができましたか。毎日のお昼の放送では、その日が何の日かや誕生花などをお知らせしています。また、皆さんが落ち着いて給食を食べられるよう、音楽を流しています。感染対策のためにも放送を静かに聞きながら、おいしい給食を食べましょう。



校訓『なかよく かしこく まっすぐに』



◆子供落語教室「大府の笑学校」落語会について◆

9月11日(日)午後2時から大府市役所地下多目的ホールにて「大府の笑学校」落語会が開催されます。立川志の太郎さんの指導の下、稽古を積んだ小学生(本年度は13人)の落語家さんたちが、落語と大喜利を披露してくれます。本校からも1年生と6年生の二人の落語家さんが笑学校で学び、その内、1年生が高座に上がります。(6年生は後日、東山小学校で披露予定です。ただいま出演交渉中!)お時間のある方は、多目的ホールにお越しください。

1年生 パッパラ亭楽っ子 6年生 ぷらわん亭ことは



◆令和5年度からの中学校の新制服について◆

新制服の導入については第48号の学校だよりでお知らせしましたが、過日、新制服について新聞報道がありましたので確認としてお知らせをいたします。(ご不明な点がありましたら、教頭までお問い合わせください。)

1 販売時期について

○12月から予約ができるように準備しています。実物が店頭に並ぶのは12月20日頃の予定です。

2 新旧制服の移行期間について

○新旧の制服が着られる移行期間を令和9(2027)年度までとします。

3 新制服の価格について

○現在の詰襟学生服やセーラー服の標準的な価格帯で収まる予定です。

○生地や機能の差異で複数の価格帯の商品を設定します。

4 新制服の説明会について(6年生)

○10月に新制服の説明会を予定しております。詳しくご案内は改めてお知らせいたします。また、各学校に新制服を展示する期間を設ける予定です。

◆秋の全国交通安全運動 9月21日(水)～9月30日(金)◆

○子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保、○夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶、○自転車の交通ルール遵守の徹底、以上の運動重点に沿った秋の全国交通安全運動を県民総ぐるみで展開し、交通事故の防止を図ることを目的としています。

《サブスローガン》実践しよう 交通安全スリーS (Stop/Slow/Smart) 運動

《県内一斉大監視》9月27日(火)午後4時～午後6時の間

ココン東西

読ませたいと母から贈られた本『60歳からの人生を楽しむ孤独力』を、もう読んだ?と妹からメールが来た。あの本は妹の差金だったのか、と思いつながら「60歳までには読む」と返信しておいた▼大人になって楽になったことに本との関係がある。子供の頃、本を読みたいと思ったことがなかった。読書は、読書感想文を書くために仕方なくするものであり、大人から「しなさい」と指示されてする課題でしかなかった。本と向き合うときは基本、したくないことをしなければならなかった。読書を好きになるはずなかった▼大人になってからは、嫌な気持ちで本と向き合うことがうんと減った。買った本を読まなくても叱られないし、感想をまとめる必要も、読んだ冊数を数えられることもない▼大人になると人との関係がややこしくなる。妹よ、せめて本とは、今のよう

に、自由な関係でいさせてくれよ!